

理学療法学科 カリキュラム・マップ:2025年度以降入学者

大学のディプロマ・ポリシー	理学療法学科のディプロマ・ポリシー
1) 保健医療分野の専門性 保健医療の専門職として必要な専門知識と技術を身に付け、対象者の支援のために適切に活用することができる。 2) 共生社会の理解 共生社会の概念を理解し、障がい者や高齢者など多様な生活者が共生できる社会の実現に意識を置きながら、保健医療の専門職として行動することができる。 3) 課題解決力 保健医療の専門職が直面する様々な課題について、その背景やニーズを把握し、対象者の立場を理解し、課題解決に向け適切に行動することができる。 4) 応用力 QOLの維持・向上や健康寿命の延伸に向け、保健医療の専門分野のみならず、関連する他分野の知識を応用し、視野を広げて業務に取り組むことができる。 5) 組織における経営・マネジメント力 経営・マネジメントの素養を身に付け、保健医療に関する諸課題の改善に取り組むことができる。	D 1) 保健医療分野の専門性 理学療法に関わる専門的な知識や技術を修得し、様々な疾患や障害により理学療法を必要とする対象者に対し、適切で専門的な理学療法を行い、社会適応するための支援ができる。 D 2) 共生社会の理解 理学療法の専門職としての役割に加え、共生社会の理念を実践する理学療法士としての自覚を持ち、組織や地域社会に貢献することができる。 D 3) 課題解決力 身体運動に関する医療専門職である理学療法士として、対象者の立場や背景、ニーズ等を把握した上で、適切に病態や障害を評価し、運動機能の回復・維持等に対する課題解決に取り組むことができる。 D 4) 応用力 理学療法の専門性である身体運動分野等に隣接する他分野へ視野を広げ、対象者のQOL維持・向上や健康寿命の延伸に向けた理学療法の応用・展開に取り組むことができる。 D 5) 組織における経営・マネジメント力 保健医療経営や理学療法に取り組む組織・人材マネジメント等に関する基礎知識を身に付け、保健医療経営やマネジメント等の課題に幅広く対応できる。

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
敬心における共生論	RP1A151L1		基礎科目	1	必修		①医学を学ぶ上で必要な漢字を覚える。 ②学生同士で協力して課題に取り組むことができる。 ③適切な身だしなみ・振る舞いを身に付ける。	○	○	○		
リハビリテーション基礎Ⅰ	RP1A152L1		基礎科目	1	必修		①基礎医学の最重要項目を覚えることができる。 ②他者の力を借りながら課題を遂行することができる。 ③理学療法士になる為に初年次の段階で修得すべき基礎医学の知識を記憶することができる。	○	○	○		
リハビリテーション基礎Ⅱ	RP1A253L1		基礎科目	1	必修							
リハビリテーション基礎Ⅲ	RP1A254L1		基礎科目	1	必修							
心理学・臨床心理学	RP1A155L1		基礎科目	2	必修		①学生は、授業で扱われた心理学の各テーマについての概要を理解し、その中に出てきたキーワードや代表的な心理学実験について説明できる。 ②学生は、授業で扱われた心理学・臨床心理学の知識がリハビリテーション専門職の仕事にどのように関わっているのかについて説明できる。 ③学生は、リハビリテーション専門職の国家試験に頻出する心理学・臨床心理学分野におけるテーマの重要事項について覚え、国家試験問題の過去問を解くことができる。	○	○	○	○	
社会学	RP1A156L2		基礎科目	2	選択		①現代社会において自発的に判断し、発言できる人間になる。 ②社会学の特徴を理解し、その観点から社会現象を分析、整理して文章にまとめることができるようになる。 ③学生同士のディスカッションを踏まえて、自分の意見を明確に述べるができるようになる。		○			
実務英会話	RP1A157P1		基礎科目	1	必修		①英語の保健医療福祉の専門用語を覚え、活用できる ②介護の場面で使われる英単語や関連表現・フレーズを活用できる ③コミュニケーションツールとして英語を捉え、恥ずかしがらずに活用できる姿勢を身につける	○	○			

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
法律学	RP1A158L2		基礎科目	2	選択		①法が社会生活の中でどのような機能を有しているかを説明できる。 ②憲法，民法，刑法の基本的知識を説明できる。 ③学習した基本的知識を日常生活で生じうる法律問題において適用できる。 ④医療・福祉部門で仕事をしていくうえで生じうる法律問題について説明できる。		○			
チームワーク実習	RG1B251P1		基礎科目	1	必修							
コミュニケーション論	RP1B152L1		基礎科目	2	必修		①コミュニケーションの基礎的な理論を理解し説明できる。 ②ソーシャル・メディアにおけるコミュニケーションや異文化コミュニケーションの問題について理解し説明できる。 ③アサーション・トレーニングについて理解し説明することができる。		○	○		
ボランティア概論	RP1C151L1		基礎科目	2	必修		①ボランティアの基本概念を理解し説明できる。 ②様々な領域のボランティア活動について説明できる。 ③ボランティアとNP0、コミュニティ等との関係を説明できる。		○	○		
統計学	RP1D351L1		基礎科目	2	必修							
生物学	RP1D152L1		基礎科目	2	必修		①人間を含むすべての生物が共通してもつ基本的な特徴について説明することができる。 ②人体を構成する主要な化学物質と、人体の基本単位である細胞の構造と機能を説明することができる。 ③食物から得られる栄養素が体内で利用されるしくみについて説明することができる。 ④細胞間の情報伝達のしくみについて説明することができる。	○				
情報リテラシー	RP1D153L1		基礎科目	2	必修		①コンピュータとインターネットの基本的な仕組みを理解し、自分の言葉で説明できる。 ②情報システムの基本的な構成と利用法、各種用語を正しく理解し説明できる。 ③情報システムの特性と背後にある仕組みの関係が説明できる。			○	○	
解剖学Ⅰ	RP2E151L1		職業専門科目	1	必修		ヒトの骨とその連結の構造と機能、骨格筋の付着部と作用を理解し説明できることを到達目標とします。また、到達目標を達成するために以下の4つの小目標を設定し、学習を進めていきます。 ①ヒトの尊厳と生命倫理の重要性を述べることができる。…解剖学総論により学修を深める。 ②上肢帯と上肢の構造を説明することができる。…骨や靱帯、関節および骨格筋 ③下肢帯と下肢の構造を説明することができる。…骨や靱帯、関節および骨格筋 ④頭頸部と体幹の構造を説明することができる。…骨や靱帯、関節および骨格筋	○				
解剖学Ⅱ	RP2E152L1		職業専門科目	1	必修		神経系、感覚器系、消化器系、呼吸器系、循環器系、内分泌系、泌尿器系および生殖器系の構造と機能を理解し説明できることを到達目標とし、達成するために4つの小目標を設定し進めます。 ①解剖学Ⅱを通して、ヒトの尊厳と生命倫理の重要性を述べることができる。…各種系統概論 ②神経系の構造を説明することができる。…概論、中枢神経、末梢神経、伝導路、感覚器 ③内臓器の構造を説明することができる。…消化器、呼吸器、循環器、内分泌、泌尿器、生殖器 ④人体の発生について説明することができる。…受精から出産までの過程の解剖学的側面	○				
解剖学実習	RP2E153P1		職業専門科目	1	必修		全身に存在する各器官の形態と存在する位置について説明できる。 ①各器官の形態と位置関係を説明できる。 ②特に運動器系について、骨における筋の起始と停止の位置と形状の違いを詳細に説明できる。	○				
機能解剖学	RP2E254L1		職業専門科目	1	必修							

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
生理学Ⅰ	RP2E155L1		職業専門科目	1	必修		①人体の構成単位としての細胞の構造と機能、特に細胞膜の構造と機能について説明することができる。 ②循環・呼吸・消化吸収・排泄・内分泌の各機能を担う器官とその働きを説明することができる。	○	○			
生理学Ⅱ	RP2E156L1		職業専門科目	1	必修		①ニューロンの構造と機能について説明することができる。 ②神経系の構成と各神経系の機能について説明することができる。 ③各感覚系を構成する器官と感覚のしくみについて説明することができる。 ④骨格筋の構造と収縮機構について説明することができる。 ⑤神経系による運動制御のしくみについて説明することができる。	○	○			
生理学実習	RP2E157P1		職業専門科目	1	必修		①生理学的指標の計測原理を理解し、何をどういうしくみで測っているのかを説明することができる。 ②計測の結果得られたデータを適切に解析、表やグラフ等を用いて視覚的に呈示できる。 ③実習の結果と教科書等の記載から、科学的な考察を導き記述することが出来る。	○		○		
運動学Ⅰ	RP2E158L1	○	職業専門科目	1	必修		①生体力学の基本概念を認識する ②身体運動の表記に必要な基礎知識を理解する ③身体運動に影響を与える力について説明できる ④運動器の基本構造や機能について説明できる ⑤姿勢に関わる理想的アライメントや抗重力筋について説明できる ⑥歩行周期の相・期および関節運動・筋活動について説明できる ⑦運動学習におけるフィードバックや運動学習の様式について説明できる	○				
運動学Ⅱ	RP2E159L1	○	職業専門科目	1	必修		①上肢、下肢と体幹の筋骨格系の構造と機能を理解し、記憶する。 ②身体運動（寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行動作）を運動学の視点から説明することができる。	○				
運動学実習	RP2E260P1		職業専門科目	1	必修		① 動作分析を行う上で重要な生体力学を理解する。 ② 上肢・下肢・体幹の運動器と動作を説明することができる。 ③ 日常生活動作上で重要な動作を相に区分し、説明することができる。 ④ 各種検査機器から得られるデータを分析し、考察を行うことができる。	○	○	○	○	
運動生理学	RP2E261L1		職業専門科目	1	必修		①人体の基本的な生理機能（心血管系，呼吸器系，神経系，筋骨格系，内分泌系など）を説明できる。 ②運動が身体の各種システムに及ぼす影響を説明できる。	○				
人間発達学	RP2E162L1		職業専門科目	1	必修		①人の発生から，終焉までの過程を理解できること。 ②小児の運動発達，精神発達について過程程を理解できること。 ③加齢による心身の変化を理解できること。					
精神医学	RP2F351L1		職業専門科目	2	必修		① 精神医学の歴史および現状について説明することが出来る ② 主要な精神疾患の症状について説明することが出来る ③ 精神疾患の経過や治療、生活上の困難さについて説明できる	○	○		○	
整形外科学Ⅰ	RP2F252L1		職業専門科目	2	必修							
整形外科学Ⅱ	RP2F253L1		職業専門科目	1	必修							

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
神経内科学	RP2F254L1		職業専門科目	2	必修		①神経疾患の理解に必要な神経系の基本的な解剖とその機能について説明できる ②神経疾患の診断に用いられる画像診断の基本原則を理解し、代表的な画像診断法について説明できる ③主要な神経疾患について、病態、症状、診断法、治療法をそれぞれ説明できる	○		○		
小児科学	RP2F355L1		職業専門科目	2	必修		①小児の特性を理解する ②小児の定型的な発達、発育を理解する ③小児科特有の疾患を中心に学習					
内科学	RP2F256L1		職業専門科目	1	必修		内科疾患（循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、内分泌・代謝疾患、血液疾患、腎臓疾患、膠原病）について理解すること ① 疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を理解する。 ② 代表的な疾患の発症様式と症候、診断の要点を理解する。 ③ 代表的な疾患の治療と予後について理解する。	○	○	○		
老年医学	RP2F257L1		職業専門科目	1	必修		①加齢に伴う心身の変化について説明できる ②老年期にみられる疾患の診断・治療について説明できる ③高齢者を取りまく医療・介護の環境・制度について説明できる	○		○		
救急救命の基礎	RP2F358P1		職業専門科目	1	必修		災害や事故の発生に伴う局所反応および呼吸・循環・代謝・その他の機能の評価・判定を理解して、迅速な処置を行い、救急搬送に至る流れを理解し、実行できる能力を獲得することを目標とする。					
専門基礎領域	RP2F359L1		職業専門科目	1	必修							
栄養学・食と健康	RP2F260L1		職業専門科目	1	必修							
リハビリテーション医学	RP2G351L1		職業専門科目	2	必修		① リハビリテーション医学の背景となる法制度、概要を説明できる。 ② リハビリテーション医学に基づく診察・評価の基礎を説明できる。 ③ 主な障害の病態生理について説明できる。 ④ 主な障害の治療について説明できる。 ⑤ 主要な疾患に対するリハビリテーション医学的知識を説明できる。	○		○	○	
共生福祉論	RP2G152L1		職業専門科目	1	必修		① “共生福祉 “の概念や意義について説明できる。 ②地域における “共生型の福祉サービス “について説明できる。 ③様々な対人援助専門職が “共生福祉 “のために連携する必要性について説明できる。	○	○	○		
地域共生のための連携活動	RP2G353L1		職業専門科目	1	必修							
基礎理学療法概論	RP2H151L1	○	職業専門科目	2	必修		①専門職としての理学療法士になるための自分自身の課題を明確にし、その克服のために必要な取り組み方法や、具体的に必要な知識や技術などについて答えることができる。 ②理学療法業務内容及び理学療法士の役割について答えられる。 ③理学療法の対象となる疾患，障害との関連性について理解し，必要な理学療法手段を選択できる。 ④治療医学，リハビリテーション医学と理学療法の位置づけとその概要について答えられる。	○	○	○	○	○

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
基礎理学療法概論実習	RP2H152P1		職業専門科目	1	必修		①理学療法士に求められる接遇を実践できるようになる ②理学療法の実践に必要な医療面接技術やコミュニケーションスキルを身に着ける ③理学療法評価に必要な情報収集方法を習得する ④理学療法評価法で行う基本的な技術を習得する	○	○	○	○	
理学療法研究法	RP2H353L1		職業専門科目	2	必修		①理学療法における疑問点の解決方法を説明できる。 ②研究を遂行するにあたっての研究実施方法を説明することができる。 ②論文の構成を理解し、要点をまとめることができる。 ③発表資料の作成およびプレゼンテーションが実施できる。	○		○		
理学療法管理学	RP2I251L1		職業専門科目	2	必修							
基礎理学療法評価学実習	RP2J151P1		職業専門科目	1	必修							
運動器理学療法評価学	RP2J252L1	○	職業専門科目	2	必修		① 主要な関節における解剖学・運動学の知識を説明できる。 ② 運動に必要な生理学の知識を説明できる。 ③ 運動器の評価に必要な知識を説明できる。	○				
運動器理学療法評価学実習	RP2J253P1		職業専門科目	1	必修		① 関節可動域測定・徒手筋力検査を実施に必要な知識を説明し実施できる。 ② 整形外科系の特殊検査実施に必要な知識を説明し実施できる。 ③ その他、パフォーマンステストを体験し基準値などを説明できる。	○				
神経理学療法評価学	RP2J254L1	○	職業専門科目	2	必修		① 神経系疾患に対する理学療法検査を列举し、その意義を説明できる。 ② 神経系疾患に特徴的な障害像を理解し、障害が発生するメカニズムを説明できる。 ③ 神経学的検査法の正しい手順、およびその結果の解釈を説明できる。	○		○		
神経理学療法評価学実習	RP2J255P1		職業専門科目	1	必修		①各種検査を実施する際に、適切な態度と接遇を備えた対応ができる。 ②各種検査を適切に実施するためのオリエンテーションを対象者に対してわかりやすく行うことができる。 ③各種検査を正確な手技と手順で実施できる。 ④各種検査の結果を簡潔かつ的確に報告できる。 ⑤感染リスクや転倒リスクを考慮し、適切な安全管理を行いながら検査を実施できる。	○				
物理療法実習	RP2K351P1		職業専門科目	1	必修		① 各種物理療法機器を正確に使用することができる。 ② 物理療法機器を用いた実験をグループで計画(目的、方法等)することができる。 ③ 各種物理療法機器を用いた実験の結果を正しく記載することができる。 ④ 各種物理療法を実施した際に生じた生理学的作用を解釈することができる。 ⑤ 実験による物理療法機器の臨床応用・実験の限界について考察することができる。	○	○	○		
義肢装具実習	RP2K352P1		職業専門科目	1	必修		断端の管理方法、義足の適合および義足歩行について理解し、異常歩行の原因と対処法を説明できる。 各種装具の適応および適合と評価について理解し、適合判定と効果判定の方法を説明できる。	○	○			
日常生活活動学	RP2K253L1		職業専門科目	2	必修		①日常生活活動の概念を理解し、評価と介入の基礎を説明できる。 ②疾患や障害の特性に応じた日常生活活動の支援方法を理解する。 ③生活環境や補助具の活用を考慮した支援計画を立案できる。 ④他職種と連携し、対象者の生活の質向上を目指したアプローチを考えることができる。	○		○	○	

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
日常生活活動学 実習	RP2K254P1		職業 専門 科目	1	必修		①ADL動作を評価できる ②正常な基本動作、歩行動作の運動学的分析ができる ③ADL遂行に必要な身体機能と代表的な疾患がADLにおよぼす影響を説明できる ④ICFを用いて問題点を整理し、福祉用具や環境面も含めた支援策を考えることができる ⑤ADL指導法を実践することができる	○		○	○	
運動器理学療法学	RP2K255L1	○	職業 専門 科目	2	必修		①運動器障害の病態と治療方法を理解し、臨床に応用できる知識を習得する。 ②骨・関節・骨格筋の機能解剖学および病態運動学を説明できる。 ③整形外科系疾患に関する外科・整形外科手術の基礎知識を理解する。 ④医用画像（X線・MRI・CT等）の基本的な読影ができ、評価に活用できる。 ⑤臨床で得られる各種検査結果を統合し、適切な理学療法計画を立案できる。 ⑥患者の機能障害・活動制限に応じた理学療法を実施できる基礎的技能を身につける。 ⑦習得した知識・技能を次段階の「運動器理学療法学実習」に活かせる。	○	○	○	○	○
運動器理学療法学 実習	RP2K256P1		職業 専門 科目	1	必修		①運動器障害の病態と治療方法を理解し、臨床に応用できる知識を習得する。 ②骨・関節・骨格筋の機能解剖学および病態運動学を説明できる。 ③整形外科系疾患に関する外科・整形外科手術の基礎知識を理解する。 ④医用画像（X線・MRI・CT等）の基本的な読影ができ、評価に活用できる。 ⑤臨床で得られる各種検査結果を統合し、適切な理学療法計画を立案できる。 ⑥患者の機能障害・活動制限に応じた理学療法を実施できる基礎的技能を身につける。 ⑦習得した知識・技能を次段階の「運動器理学療法学実習」に活かせる。	○	○	○	○	○
神経理学療法学	RP2K257L1	○	職業 専門 科目	2	必修		① 脳卒中、失調症、パーキンソン病、神経難病等の基本的な病態について説明できる ② 患者の問題点に対する適切な理学療法を選択できる ③ 実施する理学療法を根拠に基づいて説明できる	○		○	○	
神経理学療法学 実習	RP2K258P1		職業 専門 科目	1	必修		① 脳卒中、失調症、パーキンソン病、神経難病等の基本的な理学療法について説明できる ② 患者の問題点に対する適切な理学療法を実施できる ③ 実施する理学療法を根拠に基づいて説明できる	○		○	○	
内部障害理学療 法学	RP2K359L1	○	職業 専門 科目	2	必修		チーム医療に対応するべく、内部障害にかかわる内科系疾患による障害を有する対象者への理学療法の臨床的位置づけと介入方法や生活習慣病に対する健康増進について理解し習得すること ①糖尿病および肥満症の病態を理解、把握した上で理学療法を理解する ②糖尿病の合併症を理解し、安全に理学療法を実施するための注意点を理解する ③急性および慢性閉塞性呼吸器疾患の病態を理解、把握した上で理学療法を理解する ④急性および慢性閉塞性呼吸器疾患の病期に応じた理学療法を理解する ⑤急性および慢性閉塞性呼吸器疾患の合併症を理解し、安全に理学療法を実施するための注意点を理解する ⑥虚血性心疾患および慢性心不全の病態を理解、把握した上で理学療法を理解する ⑦虚血性心疾患および慢性心不全の病期に応じた理学療法を理解する ⑧虚血性心疾患および慢性心不全の合併症を理解し、安全に理学療法を実施するための注意点を理解する	○	○	○	○	
内部障害理学療 法学実習	RP2K360P1		職業 専門 科目	1	必修		到達目標は、チーム医療において内科系障害理学療法の臨床的位置づけと介入方法の判断することを考えることができ、対象患者へのリスク層別と運動処方を臨機応変に理学療法計画へ組み込むこと ①フィジカルサインを正確にとらえて、正しく計測する ②運動中のフィジカルサインを正確に計測する ③運動負荷方法により、フィジカルサインの反応が異なることを理解する ④運動負荷強度と酸素摂取量、心拍数の関連性を理解する ⑤無酸素性代謝閾値について理解する ⑥肺機能検査及び経皮的酸素飽和度を理解し、正しく計測する ⑦呼吸理学療法の標準的手技と喀痰吸引を理解し、模倣する ⑧AEDを用いた一次救命法を理解し、実施する	○	○	○	○	

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
小児理学療法学	RP2K361L1		職業専門科目	1	必修		小児領域の理学療法を実践してゆく上で、必要となる疾患の理解、臨床像の把握、評価の方法、治療プログラムの基本を学習し、子ども・家族に向き合った実践が行える療法士としての姿勢を習得する。	○		○	○	
予防理学療法	RP2K362L1		職業専門科目	1	必修		① 予防理学療法に関連する制度について説明できる。 ② 予防理学療法の領域を説明できる。 ③ 各領域における予防理学療法の役割・活動内容を説明できる。 ④ 各領域における予防理学療法の発展と自身の考える取り組みについて議論できる。	○	○	○	○	
スポーツ理学療法学実習	RP2K363P1		職業専門科目	1	必修		代表的なスポーツ外傷・障害の病態を解剖学や運動学、病理学などの知識を統合して理解する。また、代表的なスポーツ動作（走る、投げる、蹴る）などの動作分析の考え方や、整形外科的徒手検査などを学習し評価することで、スポーツを実施するすべての人々に対し、外傷・障害予防、競技復帰、競技力向上に必要な基本的なアプローチを習得する。 また、スポーツ現場における急性期対応についても理解する。	○		○	○	
臨床理学療法実技実習Ⅰ	RP2K264P1		職業専門科目	1	必修							
臨床理学療法実技実習Ⅱ	RP2K365P1		職業専門科目	1	必修							
臨床理学療法演習実習Ⅲ	RP2K466P1		職業専門科目	1	必修							
アスレティックリハビリテーション	RP2K367L1		職業専門科目	1	必修							
地域理学療法学Ⅰ	RP2L351L1		職業専門科目	2	必修							
地域理学療法学Ⅱ	RP2L352L1		職業専門科目	2	必修							
見学実習	RP2M151P1		職業専門科目	1	必修		① 一般的な理学療法対象者の概要を理解することができる ③ 実習施設における各職種の業務や責務や理学療法士の業務や守秘義務等について理解することができる ④ 理学療法を学ぶ学生としての基本的態度・資質を養うことができる ⑤ 理学療法の見学を踏まえて、理学療法への関心を深め、学修意欲を高めることができる	○	○			

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
検査・測定実習	RP2M252P1		職業専門科目	4	必修		1 医療関係者として倫理を守ることができる。 2 自己を含めて、実習現場の衛生保持に積極的に協力する。 3 理学療法士としての資質を高める。 4 正しく自己紹介できる。 5 患者、指導者、関連職員と良好なコミュニケーションをはかることができる。 6 指導者の行っている個々の理学療法業務について、説明できる。 7 積極的に質問できる。 8 指導者が行っている理学療法の意味や意義を説明できる。 9 十分なリスク管理を行うことができる。 10 評価中の指示は礼儀正しく、はっきりと聞き取れるように行うことができる。 11 担当した患者に関して、「医療多職種連携を図り、意見交換でき治療計画の一部実施」までの一連の実習を行う。 12 指導者に「問題点の推測～治療計画の立案まで」の決定過程とその理由を説明できる。 13 指導者の助言の下に治療計画に優先順位をつけ、必要に応じて計画を修正できる。 14 実習報告会で、「問題点の推測～治療計画の立案まで」の決定過程及びその理由を説明できる。 15 実習報告会に積極的に参加し、患者の問題点を解決するための考え方について再確認する。 16 医療多職種連携を図り、意見交換できる。	○	○	○	○	○
評価実習	RP2M353P1		職業専門科目	6	必修		臨床における理学療法士の役割および業務内容を理解し、対象者や実習指導者、その他の医療スタッフと良好な関係を築きながら基本的な理学療法評価を実施し、全体像を把握して目標設定や治療計画立案のプロセスを説明できる。	○	○	○		
総合実習	RP2M454P1		職業専門科目	8	必修		① 臨床実習施設における理学療法及び理学療法士の役割を理解し行動することができる ② 理学療法対象者に対して適切な配慮と情報収集と個人情報等の守秘義務を厳守し、基本情報を基に疾患や障害の特徴、リスク管理を行うことができる ③ 臨床実習指導者の指導のもと理学療法対象者の理学療法評価計画・立案を作成することができる ④ 臨床実習指導者の指導のもと理学療法対象者の理学療法評価の結果を解釈し、国際生活機能分類（ICF）を用いて、対象者の全体像を把握し、解決すべき課題を抽出することができる ⑤ 臨床実習指導者の指導のもと理学療法対象者の理学療法目標を設定することができる ⑥ 理学療法対象者に対する理学療法評価および治療内容について適切に記録・報告することができる ⑦ 臨床実習施設における理学療法士としての管理・運営業務を理解することができる ⑧ チーム医療の一員としての理学療法士の役割を体験し理解することができる ⑨ 総合実習にて体験し学修した内容を要約としてまとめ、学内セミナーにおいて発表し討論することができる	○	○	○	○	○
地域実習	RP2M455P1		職業専門科目	1	必修		①地域理学療法士としての役割と責務の理解 地域における理学療法士の役割や個人情報保護、倫理的配慮の重要性を理解し、実践できる。 ②地域包括ケアシステムおよび関連制度の理解 地域包括ケアシステムや介護予防事業に関する基本的な知識を身につけ、適切に説明できる。 ③多職種連携の重要性の理解 地域理学療法における多職種連携の必要性を理解し、他職種とのコミュニケーションを実践できる。 ④実習内容の記録と振り返り 実習報告書を作成し、実習中に学んだ内容を整理・分析し、次の学びについて説明できる。	○	○	○	○	○
共生社会の展開と実践	RG3N451L1		展開科目	1	必修							
身体障害への支援システム工学Ⅰ	RP30151L2		展開科目	2	選択		①障害特性の定義と代行手段の選択に基づく支援システムの要件定義，製品化手法を説明できる。 ②保健医療分野の現場における仮説検証に基づいた実証実験手法を説明できる。				○	
身体障害への支援システム工学Ⅱ	RP30152L2		展開科目	1	選択		①支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ②支援システムの試作品評価における実証実験手法と倫理審査の実施手順を説明できる。 ③支援システムの製品化手順を実施できる。				○	

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
ユニバーサル ツーリズムと外 出支援Ⅰ	RP30153L1		展開 科目	2	必修		① 保険医療の基礎知識を、「まち」に応用して考える視点を持つことができる。 ② 高齢者や障害者が「外出・旅行」する意義を説明できる。 ③ 高齢者や障害者が主語になるのではなく、「誰もが同様に」という共生社会について説明できる。 ④ 共生社会の実現のために、何が必要かを自分の言葉で説明できる。		○	○	○	○
ユニバーサル ツーリズムと外 出支援Ⅱ	RP30154L2		展開 科目	1	選択		① 共生社会の実現のために、具体的にどのような課題があるかに気づくことができる ② 様々なバリアの解消方法を提案することができる ③ ユニバーサルツーリズムを地域活性化につなげる視点を持つことができる ④ グループでコミュニケーションをとりながらプレゼンシートを作成し、分担してプレゼンテーションを行うことができる		○	○	○	○
美容ケアによる QOLの維持向上Ⅰ	RP30155L2		展開 科目	2	選択		①美容の基礎理論や心理的作用について説明できる ②美容の基礎技術や心身に対する効果を演習を通して技術を身につける ③化粧品や化粧道具について正しい理解と説明ができ、安全に使用することができる ④人生において想定される美容の問題から人生の終末までの課題を抽出できる	○			○	
美容ケアによる QOLの維持向上Ⅱ	RP30156P2		展開 科目	1	選択							
理学・作業療法 士のための音楽	RP30157L2		展開 科目	2	選択		①音楽が社会の中で果たしてきた役割、共生社会との関わりについて説明できる ②音楽の様々な機能をリハビリに応用する方法を考えることができる ③音楽文化に関する基礎知識とリサーチ方法を身につけ、専門分野に応用できる ④リハビリに役立つ音楽活動を実施することができる		○		○	
音楽療法Ⅰ（音 楽療法の理論と 技法）	RP30158L2		展開 科目	2	選択		①セラピーのツールとしての音楽の有用性について説明することができる ②セラピーのツールとしての音楽の特性について説明することができる ③様々な現場での音楽の活用法を考え、実施方法を工夫することができる			○	○	
音楽療法Ⅱ（音 楽療法の実践）	RP30159P2		展開 科目	1	選択							
手話による聴覚 障害者とのコ ミュニケーショ ンⅠ	RP30160L2		展開 科目	2	選択		①日常会話程度の手話を自分で表すことができ、相手の表していることがわかる。 ②療法実践の場で活用できる手話を習得する。	○	○			
手話による聴覚 障害者とのコ ミュニケーショ ンⅡ	RP30161P2		展開 科目	1	選択		①日常会話程度の手話を自分で表すことができ、相手の表していることがわかる。 ②療法実践の場で活用できる手話を習得する。	○	○			
パラスポーツⅠ	RP30162L1		展開 科目	2	必修		①パラスポーツの意義と理念を説明できる ②パラスポーツの特徴について説明できる ③パラスポーツ競技会について、その概要を説明できる ④パラスポーツにおける理学療法士・作業療法士の役割りについて説明できる	○	○	○	○	○
パラスポーツⅡ	RP30163P2		展開 科目	1	選択							
スポーツトレー ニング論	RP30164L2		展開 科目	2	選択							

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
リハビリテーション医工学概論	RP30165L2		展開科目	1	選択							
実務リーダーのための経営・マネジメント論Ⅰ	RP3P151L1		展開科目	2	必修							
実務リーダーのための経営・マネジメント論Ⅱ	RP3P152L1		展開科目	2	必修							
保健医療経営	RP3P153L2		展開科目	2	選択							
総合事業開発	RP3P154P2		展開科目	1	選択		1. 新規事業のアイデア創出からビジネスモデルの設計、そして事業計画の主要項目を理解し、その実現可能性と収益性を評価できるようになる。 2. 経営戦略や事業戦略立案の際の、戦略や計画の様々な主要フレームワークに関する知識を持ち、それらを活用し、持続的な競争優位性を確立する事業戦略を立案する知識を得る。				○	○
理学療法総合演習Ⅰ	RP4Z351L1		総合科目	1	必修							
理学療法総合演習Ⅱ	RP4Z352L1		総合科目	1	必修							
理学療法総合演習Ⅲ	RP4Z453L1		総合科目	1	必修							
理学療法総合演習Ⅳ	RP4Z454L1		総合科目	1	必修							